

第 373 回  
株式会社テレビ新潟放送網  
放送番組審議会

- 1 開催日時 2020 年 11 月 30 日 (月)  
2 開催場所 テレビ新潟本社  
3 委員総数 7 人 出席委員 7 人

出席委員

若杉 隆平	委員長	田村 明子	副委員長
飯塚 智	委員	増満 浩志	委員
大久保 千春	委員	柳川 かおり	委員
本宮 宏美	委員		

会社側出席者

代表取締役社長	小山 章司
常務取締役放送本部長	稲田 裕之
取締役報道制作局長	寺内 邦彦
編成局長兼番組審議会事務局長	羽田 朗
報道制作局次長兼制作部長	竹野 和治
合評番組プロデューサー	表 修平
事務局	小野塚由起子 吉田 康宏

## 4 議 題

### 1) 番組合評

「雨には負ケズ ～豪雨時代 あなたを守る新防災～」

[放送：2020年10月31日（土）10:30－11:25]

(説明：番組プロデューサー 表修平)

### 2) 会社報告

①10月の視聴者の意見 (報告：番組審議会事務局)

②放送番組の種別報告 (報告：番組審議会事務局)

③講じた措置、公表など定例報告等 (報告：番組審議会事務局)

### 3) その他

## 5 審議の概要

会社側からは、「専門家によると、新潟県は越後平野が特にそうだが、薄く広いお盆のような土地で、水を貯めやすい全国でも希な地形だという。西日本豪雨のように全国各地で毎年のように繰り返される大規模災害が、自分の住むところにも起こりうると感じてほしいと思い制作した。防災や備えに関する番組は堅苦しい内容になりがちだが、災害への関心が低い人や世代にも届くような、また家族そろって見ていただけるような柔らかい内容も盛り込めたらと思って制作した。」という主旨の説明があった。

(委員の意見)

- 避難のタイミングや水が引けた後の污水対策などに「新防災」を期待したが、あっという間に番組が終わってしまった印象だった。
- ほっこり優しい感じの番組だったが、水害の実体験を持つ身としては「どうしたら命を守れるか」が伝わる1時間だったら良かった。

- 心のどこかで危機意識が薄れている中、警鐘を鳴らす内容で、考えさせられる場面が多かった。
- 芸人の避難体験コーナーは違和感を覚えた。伝えたい情報がグッズの体験なのか避難所の体験なのかわからなかった。
- 大河津分水の基本情報が抜けていた。川に潜入した取材者が現場全体のどのあたりにいるのか視聴者に分からず、もったいなかった。
- 耐水害住宅は興味深かったが、船のように浮くことが対策としてなぜ大事なのが示されていなかった。
- 大河津分水の堤防決壊のシミュレーションや芸人の避難所体験など、多くの人が他人事でないと考えよう工夫が凝らされていた。
- 最悪の事態を一人ひとりが想定するよう呼びかける番組なので、安易に「想定超え」と伝えるのはミスリードになるのではと思った。
- 線状降水帯の研究など、発展途上なのだろうが、防災が進化している「新防災」の情報提供がしっかりされていて、ためになった。
- 全体を通じたメッセージが分かりづらかった。ハードによる防災が限界ならば何が必要なのか、解決策が示されていなかった。
- データや実験・調査を駆使して、各分野の取り組みを分かりやすく見せてくれてためになった。特にCGが効果的だった。
- 芸人の避難所体験はためになったが、いま知りたいのは感染症対策であり、それを前面に出してもよかったと思う。
- 自然が相手なので解がない。ただ、大河津分水のどこが弱くてどこを強化しなければならないのか、全体像が分からなかった。
- 守るべきは命。ハードに限界があるなら、ソフトでどこまで命を守る手立てを考えたらいいのか、もう少し見えてくると良かった。

## 6 会社側の報告

### 1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

10月…… 149件

### 2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会(2020年10月26日)から、昨日(2020年11月29日)まで、総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

## 7 審議機関の答申または意見(前回審議会)に対してとった措置

### 1) 前回第372回審議会では、

「夕方ワイド新潟一番 きょう25歳!!感謝を込めて ゴールデン進出SP」を審議いただき、委員の意見は議事概要にて記者制作スタッフ、社内に周知しました。

### 2) 番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧しました。

## 8 今回の第373回放送番組審議会の公表

1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に議事概要の書面を準備しています。

2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。

3) TeNYホームページに議事概要を掲載します。

## 9 参考事項(委員への配布資料)

- ・第372回番組審議会議事録
- ・10月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
- ・BPO報告(NO.218、219)
- ・民間放送新聞(2166~2168号)

以上